

第30回 2023年9月号

薬局の薬剤師で
回覧してください。

かいえい通信

EGFR阻害作用のある抗がん剤を使用する 治療に伴う皮膚障害について (3/3)

足用爪切りは直線刃がオススメ！



スパイラルテープ法

爪の際に肉芽が形成され、爪がくい込んでいる場合に行われます(医療者の指導を受けてから行いましょう)



出典: マルホHP

爪の周りの皮膚が盛り上がり、巻き爪になることがあります。治療開始後6～8週間目に生じやすく、その後長期にわたって続くことも多いです。

爪とその周りを物理的に圧迫しないための処置として、爪の切り方の工夫や、皮膚に爪が食い込まないようにテープや巻き爪クリップを使用して対応します。

爪が薄くもろくなったり、浮いてくるなどの変化がみられることがあります。爪表面、爪の周りの皮膚の保湿をします。爪が欠けやすくなる場合にはマニキュアなどのコート剤を使用することで対応できます。

爪が浮いたり、引っ掛かりやすい場合はネット包帯を使ってひっかかりによる爪のはがれを防ぎます。

長野県薬剤師会会営薬局
0263-32-3663

